

＜第3回後＞ 「中間取りまとめ構成(たたき台)」への意見

項目	追加・修正意見	理由等	対応案関係頁
特性(周辺を含めたポテンシャル・強みと弱み)	(弱み) ・交通アクセス性の脆弱さ →公共交通アクセス性の脆弱さ	・アクセス道路は整っていることから、公共交通に限定された い。	修正 P14
将来像にかかる方向性	・アクセス性の向上に 「新交通システム・平野南笠線の整備」を記述する。		委員会議論 P25
実現に向けた対応(当面・中長期)	・「景観の調和」「休憩所、施設案内標識の設置」を記述する。		委員会議論 P25
実現に向けて期待される役割	<市の役割> ・道路基盤の整備、歩道の整備について →削除	・道路基盤の整備は概ね完了している。また、現時点では歩道整備の予定はなく、且つ、歩道整備が可能となる道路幅員が確保できていない道路が多い。	修正 P27
	<市の役割> ・都市の活性化を牽引する多様な施設の立地を可能とする地区計画等の見直し →(修正)本計画に位置づけられた施設の立地等が可能となる都市計画等の見直し	・現都市計画の用途地域等については、び文公園都市計画時点において、県が決定したものであり、現計画とは整合が図られている。	修正 P27
	<市の役割> ・住民参画等に対する支援 →削除	・住民参画の内容が具体的にないため支援の可否は不明。	修正 P27
その他	・草津市・大津市における景観計画の検討 (将来に向けた意向や課題が多く記述されている事項について景観法に基づく事業展開について検討する。)	①今年度より草津市は景観団体となったことから、滋賀県が主体となり、大津市・草津市が景観計画にて計画立案し、「景観」をキーワードにした一体的な施策とし種々の課題解決の糸口を見出してはどうか。 ②県・広域市による事業展開が成功すれば情報発信につながり集客にも寄与するのではないかと。 ③県民・市民・学生・NPOなどの活動拠点としての受け皿ができるのでは。 ④草津市の都市計画マスタープラン上にも掲載されている福祉ゾーンと草津市景観計画の中の重点地区候補地としての要素を踏まえた丘陵部ゾーンを踏まえた区域を検討区域に入れてもらいたい。	委員会議論 P25～P26

【資料3】「びわこ文化公園都市の特性と将来の社会・需要」に関する意見 【委員意見】

2012/2/24

項 目	所属	追加・修正意見	理由等	対応(案)
1-1 びわこ文化公園都市の強み				
1-1 びわこ文化公園都市の強み				
1-2 びわこ文化公園都市の弱み(課題)				
2-(1) 人口減少と少子化高齢化の進行				
2-(2) 地球温暖化対策と新エネルギーの導入・普及に関する社会的要請				
2-(3) 産業構造の転換とグリーンイノベーションへの対応				
2-(4) 防災に関する対策の必要性				
2-(5) 価値観や生活スタイルの変化と「新しい公共」				
3-(1) 将来像の理念、方向性のイメージ				
3-(2) 各主体の役割				
その他	奥村委員	P21 内部環境要因の「弱み」中 ・交通アクセス性の悪さ →公共交通アクセス性の悪さ P21 機能の強化・新機能の導入中 ・住宅地への生活利便性施設の誘致 →＜削除＞	・アクセス道路は整っていることから、公共交通に限定されたい。 また、「強み」の広域交通アクセス性の高さの記載との違いが判りにくい。	・既に周辺や地区内に立地しており、現実的ではない。

委員意見として扱う